

## ◎土佐清水市スポーツハブ展開事業「白皇ハイキング」

### 晴天下で開催して終了する！

11月27日(日)9時より標記の「白皇ハイキング」が実施されました。この行事は、NPO法人スクラムが企画・開催、教育委員会と観光協会が共催・支援した事業です。

前日はかなりの雨が降り、足元が湿って危険ではないかと心配しましたが、山中は割と乾いており、登山するには支障はありませんでした。

白皇山は、頂上の標高458メートル。足摺半島最高峰であり、北側に見える白滝山(標高446メートル)よりわずかに高い山です(『ライトマップル高知県道路地図』昭文社、2019年)。近世絵図(室戸市羽根・山本武雄氏所蔵)には「白皇山奥院」とあり、金剛福寺の奥院・真言修験寺として位置づけられ、白山洞門上に祀られていた白山神社とともに、金剛福寺本尊を守護する白皇権現が祀られていました。ここは普門院、快蔵院等と呼ばれ、近世末に修験僧やその家族36名が白皇山中で生活し、水田や畑で農耕を行い生活していたと思われます(「宗門御改差出」金剛福寺所蔵、慶応四年・1868)。

明治初めの廃仏毀釈により、神道に転向し、大正五年(1916)まで白皇山中の標高320メートル付近に拝殿と境内を構えていました。

下の絵図は、1800年代に描かれていたと推定されている「伊佐浦郷図」(室戸市羽根・山本武雄氏所蔵)です。絵図左上に位置している白王山(白皇山)の金剛福寺奥院建物下に、2軒の建物が見えます。恐らく、この2軒は白皇山上の修験僧の住居でしょう。



市のマイクロバスは、市民体育館前駐車場を9時にスタート。足摺スカイラインを通り、唐人駄場分岐点から、バスで2〜3分足摺岬方面に行った駐車場に止め、そこから登山を開始しました。まず、県山岳連盟・福山勇作理事の諸注意を聞きました（左下写真）。そこからヤッコ草や炭窯跡、白皇神社跡を見学しながら、白皇山頂に登頂（右下写真）。当日は、4組の家族と個人参加の方々が参加。スタッフも含め総勢20人が、気持ちよい青空の下、足摺岬の自然を満喫していました。生涯学習課も由岐直久係長と田村が参加させていただき、心地よい汗をかかせてもらいました。



※写真は、許可を得て掲載しています。



↑唐人駄場の巨石群で撮影。



↑巨石の上からはるか九州を望む。

【編集後記】11月25日から堺市博物館・海邊博史氏ほか3名の石造物研究者の市史調査協力員が土佐清水市に來訪いただき、大岐・念西寺旧境内地を中心に一石五輪塔の形状や帯磁率、凶面化等の調査活動を本年9月(23〜26日)に引き続き実施していただきました。いつもながら、その真摯な調査姿勢には頭が下がるばかりです。特に森山由香里調査協力員のパワーには感服。

11月30日・12月1日は足摺探信所の戦争遺跡最終調査のため出原恵三氏と大原純一氏が來市します。12月8〜9日は中世山城ドローン写真撮影のために松田直則氏と吉成承三氏、近世あしずり遍路道上の石造物調査のために濱田眞尚氏が來市します。12月19日には学校資料の調査に目良裕昭氏ほか3名の方々が來市します。市史資料編調査もいよいよ佳境に入ります。ここが正念場です。市史編集委員会の編集委員・調査協力員の皆様におかれましては、最後の最後まで市史編さん事業へのご尽力をよろしくお願いいたします。

各編集員・調査員の皆様、無事故の調査を。もう一步の粘りで執筆を最後の最後までよろしくお願いいたします。(田村)